

第18回わかしゃち奨励賞 表彰式・交流会

公益財団法人科学技術交流財団

研究交流クラブ第228回定例会 <合同開催>

イノベーションで未来に挑戦 ～新たな付加価値の源泉を創造～

日時

令和6年1月22日(月)

14:00～17:05

形態

会場、オンライン (Zoom) によるハイブリッド開催

場所

あいち産業科学技術総合センター

1階 講習会室

(豊田市八草町秋合1267-1)

14:00～ 開会挨拶

14:05～ 第18回わかしゃち奨励賞 表彰式

14:45～ 基調講演 (オンラインの方はここから講演のみ参加となります)

「全固体電池 研究・技術開発の現状・将来と可能性」

東京工業大学 科学技術創成研究院

全固体電池研究センター長 菅野 了次 氏

<概要> 電池をすべて固体で構成する全固体電池の開発が進んでいる。次世代蓄電デバイスとして最も期待されるこの電池の研究・技術開発の道程を振り返ると共に、今後の展開と、電池が固体になった場合に期待される新たなサイエンスなど、固体電池にまつわる話題を提供する。

特に、車載用電池の実用化をめざした電池製造プロセス開発が進むにつれ、固体電解質に要求される性能も明らかになってきた。その開発の現況も概観する。

16:05～ 第18回わかしゃち奨励賞 ポスターセッション兼交流会

12名の受賞者 (基礎科学研究部門：4名、基礎研究部門：4名、応用研究部門：4名) にポスターセッション形式で受賞テーマを紹介いただきながら、参加者の皆様と交流をしていただきます。
※科学技術交流財団「研究交流クラブ」会員以外の方は2,000円の参加費が必要です。

17:05 閉会

申込方法:以下の申込フォームによりお申込みください。

<https://tinyurl.com/ypmgkqum>

申込期限:令和6年1月10日(水)

定員:会場100名、オンライン200名(申込先着順)

問合せ先:愛知県経済産業局産業部産業科学技術課

担当:伊藤・加藤

電話 052-954-6351 メール san-kagi@pref.aichi.lg.jp



申込用二次元コード

第18回わかしゃち奨励賞 受賞一覧

(優秀賞は氏名五十音順)

基礎科学研究部門

最優秀賞

電子顕微鏡ライブイメージングによる心筋内生体分子動態の解明
中部大学生命健康科学部生命医科学科 講師 新谷 正嶺 氏

優秀賞

記憶固定化を担う生体脳ナノシステムを「生きたまま」可視化する
自然科学研究機構生理学研究所 助教 石井 宏和 氏

優秀賞

霊長類の適応的な社会行動を支える脳内機構の解明
自然科学研究機構生理学研究所 特任助教 兼子 峰明 氏

優秀賞

ヒトと動物に共通する慢性炎症性疾患の発症メカニズムの解明
自然科学研究機構生理学研究所 助教 山崎 剛士 氏

基礎研究部門

最優秀賞

mRNA医薬のキャップ構造多様性が与える翻訳活性への影響解明
名古屋大学理学研究科 特任助教 稲垣 雅仁 氏

優秀賞

高速オペランド電子線ホログラフィーの開発と過渡現象解析
ファインセラミックスセンター 上級研究員 穴田 智史 氏

優秀賞

多階層神経情報の同時取得と統合的解析手法の確立による心の状態の推定
豊橋技術科学大学 准教授 上原 一将 氏

優秀賞

新規がん診断薬・治療薬開発を志向したp53凝集体分析法開発
名古屋大学大学院創薬科学研究科 助教 日比野 絵美 氏

応用研究部門

最優秀賞

自立燃焼加熱によるターコイズ水素製造技術の開発
岐阜大学 准教授 朝原 誠 氏

優秀賞

局所アーク加熱で駆動する高速・ピンポイント粒子射出器
名古屋大学 助教 市原 大輔 氏

優秀賞

超小型フレキシブルダイヤモンド磁気量子センサー
豊橋技術科学大学 助教 勝見 亮太 氏

優秀賞

統合型放射線イメージングによる放射能スマート可視化の社会実装
日本原子力研究開発機構 主任研究員 佐藤 優樹 氏

受賞者の研究詳細はこちら：<https://www.youtube.com/@information8860/featured>



■留意事項

- 締切後に（公財）科学技術交流財団事務局から「参加確定メール」が送付されます。「参加確定メール」が無い場合、参加できません。
- 1月19日（金）の時点でメール未着の場合は、財団担当者へお問い合わせください。
- 【担当】（公財）科学技術交流財団 研究交流クラブ担当 メール：club@astf.or.jp 電話：0561-76-8325
- ご記入いただいた個人情報は、参加確認や主催者からの事業PR等の連絡以外で使用することはありません。
- 参加方法は、「参加確定メール」にてご案内いたします。
- オンライン参加の場合、WEB会議システム「Zoom」（<https://zoom.us>）を使用します。
- インターネットに接続でき、動画視聴可能なPCまたはスマートフォンが必要です。
- プログラムの途中からご参加いただくことも可能ですが、表彰式の間は会場への入室ができません。